



～バンダイこどもアンケートレポート Vol.48

「大人になったらお子様になってほしいものは？」

不況の影響？ 男児には高所得・安定を望む声

女兒には「人の役に立つことを」「自分の夢をかなえて」

この調査は雑誌上で当社が行っている、アンケート付きプレゼント企画への回答をまとめたものです。保護者を対象としたこどもに関する設問で、月1回の調査を行っています。質問内容は玩具に限定することなく、広い視野からこどもたちの生活に密着した生の声をまとめ、現代のこどもたちの実態をバンダイ流に解きあかしていこうと考えています。

【調査概要】

調査方法：雑誌広告でのアンケート付プレゼント企画によりハガキで募集

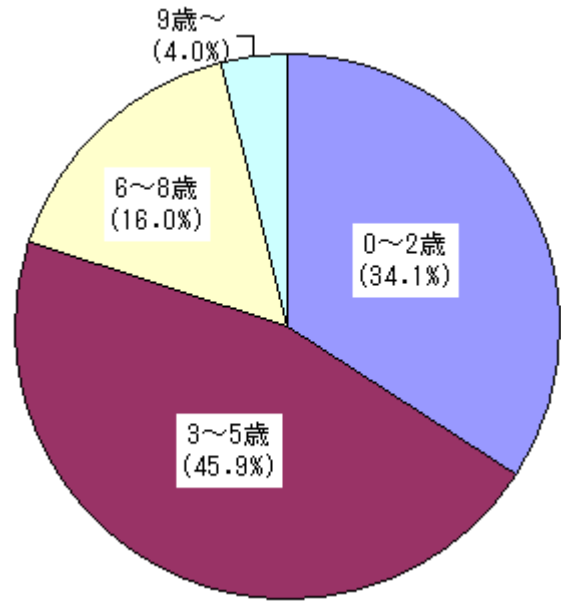
実施時期：1999年3月

質問内容：大人になったらお子様になってほしいものは？

有効回答数：700人

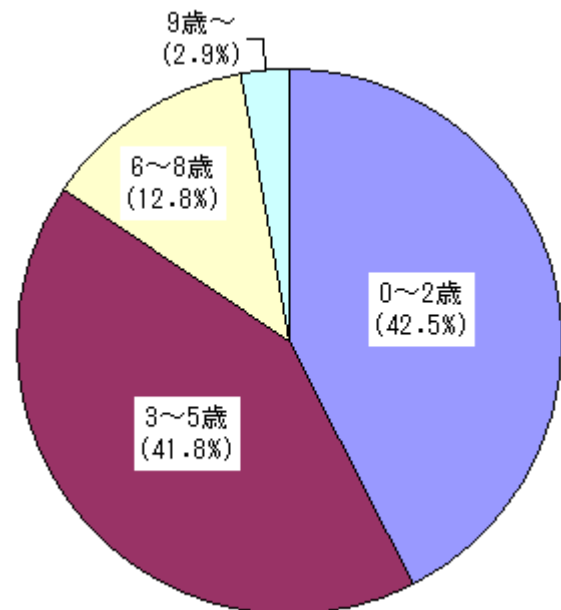
★こどもの年齢内訳★

男児	0～2歳	145人
	3～5歳	195人
	6～8歳	68人
	9歳～	17人
計		425人



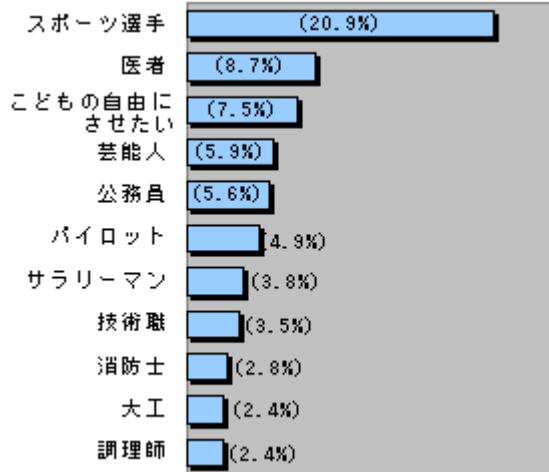
★こどもの年齢内訳★

女兒	0～2歳	117人
	3～5歳	115人
	6～8歳	35人
	9歳～	8人
計		275人

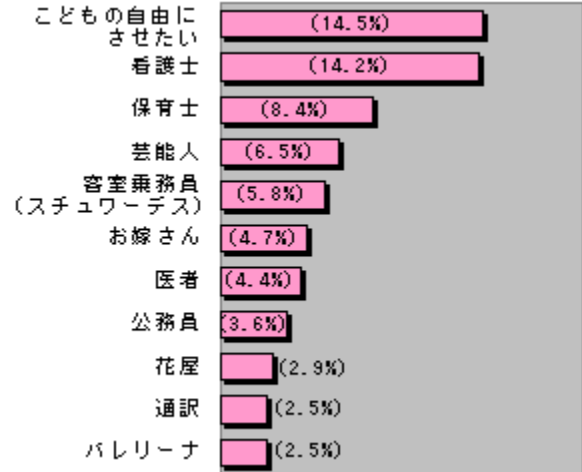


＜アンケート総合結果＞

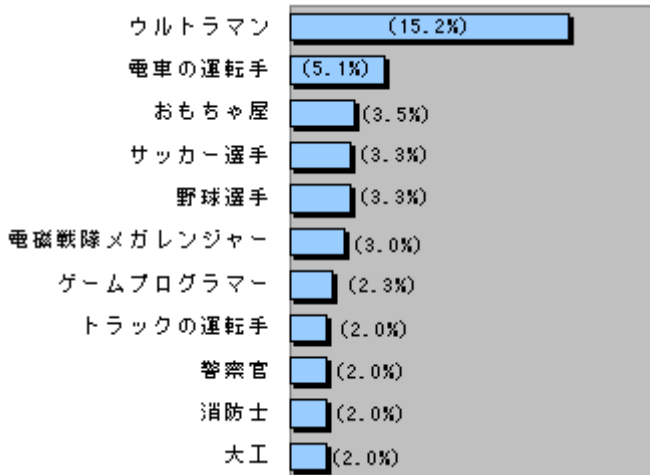
★大人になったらお子様になってほしいものは
男児（425人中・複数回答含む）



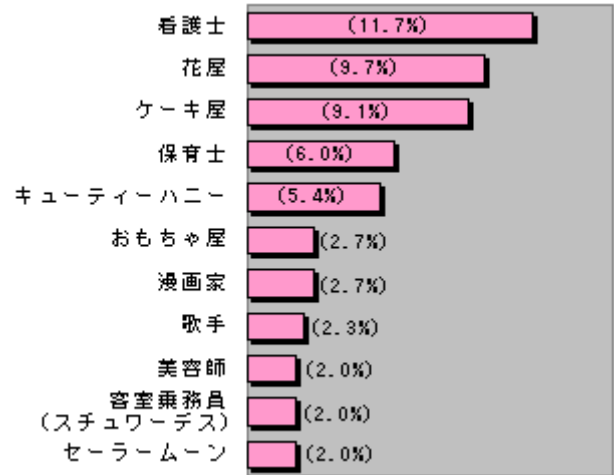
女児（275人中・複数回答含む）



★こどもが将来なりたいものは？（1998年1月調査）
男児（395人中・複数回答含む）



女児（298人中・複数回答含む）



<アンケート結果より>

男児に望むのは「高所得」「安定」「手に職」

男児総合1位のスポーツ選手の内訳は、40%が野球選手、10%がサッカー選手、以下プロゴルファー、競艇選手……と続くが、総合2位の医者、4位の芸能人同様、高所得のイメージからという回答が多く見られた。

一方、安定志向からの回答は、5位の公務員のほか、6位以下のパイロット、技術職、消防士、大工など専門技術を持っている仕事。いわゆる「手に職」があれば収入がとだえないということのようだ。男児の10位以内は、1位のスポーツ選手も含め、何か特殊な技能を身につけているものが多く、不況を反映しているのかもしれない。

女兒に望むのは「人の役に立つこと」「やさしいイメージ」「自分がやりたかったこと」

女兒の上位にあがっている看護師、保育士、花屋という回答は、何か人の役に立ってほしいという願いや、やさしい女の子らしいイメージからくるところが多いようだ。実際に看護師や保育士をしている母親の回答では、仕事がとても大変なのでこどもにはあえて勧めないという回答もあった。

芸能人、客室乗務員（スチュワーデス）、バレリーナという回答は、母親自身がこどもの頃なりたかったが実現できなかったことから来ているようだ。また、1位のこどもがなりたいものになってほしいという回答は、いずれ結婚して仕事を一生続けるかどうかわからないからということもあるのだろうか。

こどもの職業で“役得”を狙う親も

中にはこどもが寿司屋になり寿司食べ放題、旅行会社に就職し海外旅行一などこどもの職業で恩恵にあずかりたいという“ちゃっかり派”の回答もあった。

＜年齢層別結果（いずれも複数回答含む）＞

★男児 0～2 歳（145 人中）

1. スポーツ選手	30.3%
2. こどもの自由にさせたい	9.0%
3. 芸能人	7.6%
4. 公務員	6.9%
5. 医者	4.8%

☆女兒 0～2 歳（117 人中）

1. こどもの自由にさせたい	15.4%
2. 看護師	14.5%
3. 保育士	8.5%
4. 客室乗務員（スチュワーデス）	7.7%
5. お嫁さん	6.0%

★男児 3～5 歳（195 人中）

1. スポーツ選手	17.4%
2. 医者	10.3%
3. こどもの自由にさせたい	7.2%
4. パイロット	6.7%
5. 芸能人	6.2%

☆女兒 3～5 歳（115 人中）

1. こどもの自由にさせたい	17.4%
2. 看護師	13.0%
3. 芸能人	9.6%
4. 保育士	7.0%
5. 客室乗務員（スチュワーデス）	6.1%

★男児 6～8 歳（68 人中）

1. スポーツ選手	14.7%
2. 医者	13.2%
3. こどもの自由にさせたい	5.9%
消防士	5.9%
警察官	5.9%

☆女兒 6～8 歳（35 人中）

1. 看護師	20.0%
2. 保育士	11.4%
3. 医者	5.7%
お嫁さん	5.7%

★男児 9 歳～（17 人中）

1. コンピュータ関連	17.6%
2. 公務員	11.8%
サラリーマン	11.8%

☆女兒 9 歳～（8 人中）

1. コンピュータプログラマー	25.0%
以下各 1 票	

※ このアンケートレポートに関して「子ども調査研究所」の渡部尚美さんから以下のコメントをいただいております。

■大人になったらお子様になってほしいもの

若乃花、貴乃花を応援する人が多いのはなぜでしょう？ 本人に実力があり、お父さんがかつての有名な大関であったことが大きな理由でしょうが、それだけではなさそうです。

それは、こどもがお父さんの生き方を良いものと感じ、同じ道を選んだことに対する羨望のように思えます。大相撲という過酷な競争社会の厳しさを目の当たりに見ながら育った二人が、今の豊かと言われる社会において、敢えて力士の道を選んだのです。つまり、たとえ道は険しくても、こどもがお父さん（お母さん）のように生きたいと思うような家庭に対する憧れのようなものが、人気の底辺を支えているのではないのでしょうか。

現実には、こどもがあとを継がないためにその代限りという商店や職歴も多く、親から子への技能や生き方の伝承は、時代の流れとともに失われつつあります。一方で、伝統技能を持つ名人に弟子入りして継承しようとする若者もあらわれてきています。

考えてみれば、先達の魅力的な生き方や技能を継承するのは、何も実のこどもでなければいけないわけではありません。かつては長男が家業を継ぎ、その他のこどもは家業をバックアップする労働力になるべしという時代があったわけですが、今はそういうことから自由になれる豊かさがあります。

したがって、「こどもが、親をお手本にしてよりよく生きる」ことは、現代では職業を継承したり親の望む職種を目指すというよりも、親の生き方や考え方の根本に学ぶべきことがあるかどうかということになります。

「こどもの自由にさせたい」という回答が多いのは、そうしたことを背景にしています。そして職種だけでなく、こどもの目から見て、「いいな」「ああいう風に生きたいな」と思われる魅力的な親（大人）がどれだけいるかが大切でしょう。若貴のこどもの頃のビデオに、「お父さんみたいにカッコよくなりたい」という場面があり、印象的でした。